

# 食育だより

糸田町立糸田小学校  
栄養教諭 安倍 ちか

6月は、「食育月間」でした。各学校においても次に示す事項について「食に関する」様々な取組がなされたのではないのでしょうか。

## ★食育の重点事項★

1. 食を通じたコミュニケーション・・・食を楽しみながら望ましい食習慣や食に関する知識の習得を図る。
2. バランスのとれた食事・・・栄養バランスのとれた「日本型食生活」等の健全な食生活を実践する。
3. 生活リズム・・・基本的生活習慣を育成し、生活リズムを向上させる。
4. 食を大切にする気持ち・・・自然への恩恵や食へ関わる人々の活動への感謝の念
5. 食に関する知識と選択力・・・食品の安全性、我が国の食料問題に関する意識と関心を高める。

さて、田川郡学校給食会では、食育に関する研修会として、7月25日（金）の午前中、香春町民センターにおいて学校給食担当者研修会の開催を予定しています。今回は、講師として公立大学法人 福岡女子大学教授の沖田千代先生をお招きし、「子どもの生活リズム（基本的生活習慣）の育み」についてご講演いただきます。子どもたちにとって将来の健康への土台となる大切なお話をお聞きすることができますと期待しています。たくさんのご参加、お待ちしております。

# 養護だより

香春町立香春中学校  
養護教諭 出口 由香

田川郡学校保健会では、1学期に第1回研修会として7月2日に苅田町立片島小学校 教頭の節原 香智美先生を講師に招き、「養護教諭に期待すること」と題して講演会を実施しました。養護教諭に求められることとして、① 高い危機管理能力、② 組織の一員としての執務、③ 健康相談（教育相談）の力量といった主に3つの視点からご講演いただきました。日々の実践を見直すきっかけとなり、有意義な研修会になりました。2学期には研修視察、3学期には第2回研修会として講演会を計画しています。

また、田川郡学校保健会では四つの養護部会に分かれ、次のように研修テーマを設定し、定期的な研修を継続して実施しています。今年度のテーマは、次の通りです。

- < 一部 > 健康相談活動を通して（2年次）
- < 二部 > 養護教諭の執務の見直し
- < 三部 > 関係機関との連携について
- < 四部 > 応急処置についての交流・児童生徒の保健委員会活動の交流



## 第43回 福岡県教育研究所連盟研究発表協議会のお知らせ

標記の研究発表会が下記のように開催され、県内各地での貴重な教育実践が発表されます。自分自身の力量アップを図るため、参加してみたいかをご紹介します。

- 期日・会場 平成26年11月19日（水） 福岡県教育センター
- 発表内容 福岡県内の各教育機関が実践・研究の成果を発表

## 平成26年度 田川郡教育研究所 所員

所長	平野 志津夫	副所長	縄田 哲也（川崎中学校 校長）
副所長	小峠 英人（中津原小学校 校長）	書記	有田 真理子
幹事	小峠 英人（中津原小学校 校長）	主任指導員	白石 毅（赤中学校 教頭）
主任指導員	金子 祥二（今任小学校 教頭）	指導員	高瀬 大輔（川崎小学校 教諭）
指導員	梅木 雷太（金田小学校 教諭）	指導員	安藤 志保美（大任中学校 主幹教諭）
指導員	岩川 秀治（赤中学校 主幹教諭）		

## 田川郡教育研究所

# 所報

第108号

発行日 平成26年7月14日  
発行所 田川郡教育研究所  
http://www.tagawa-lab.sakura.ne.jp/

## 就任の挨拶

田川郡教育研究所 所長 平野 志津夫

本年度の所長を務めさせていただきます平野です。よろしくお願いいたします。経験豊富な先輩教師が続々と退職されていく中で、各学校ではリーダーやミドルリーダー、そして若年教師をどのように育てていくか。また、児童・生徒の学力向上をどのように図っていくかが課題の最たるものだと思います。

本年度田川郡教育研究所では、これらの課題解決の一助となりますよう、教師としての専門的な力量向上を図るための研修を新たに取り入れてみました。今後も魅力ある研究所を目指し取り組んで参りたいと考えておりますので、これまでに増してのご支援とご協力をお願いいたします。

田川郡教育研究所 副所長兼幹事 小峠 英人

本年度、本研究所の副所長を拝命いたしました中津原小学校の小峠です。どうぞよろしくお願いいたします。

田川郡の大きな課題である学力の向上について各学校で取り組みの充実が図られていることだと思いますが、この学力向上の課題に対して教育研究所の果たす役割は重要であると考えています。また、若年教員が増加する状況を踏まえ、すばらしい実践の紹介などを通して人材育成に力を注いでいきたいと思っています。今後とも研究所へのご支援とご協力よろしくお願いいたします。

田川郡教育研究所 副所長 縄田 哲也

本年度、本研究所の副所長を拝命いたしました川崎中学校の縄田です。微力ながら、田川郡教育研究所の発展に向けて、努力していきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

さて、本研究所は「学習指導と評価に関する研究」をテーマに4年次を迎えました。小中学校の各教科部会におかれましても、様々な研究が進められ、課題解決に向け成果が現れてきていることを実感しています。今後とも、よろしくお願いいたします。

## 小・中学校研究員、担当校長の紹介

小 学 校			中 学 校		
教科名	研究員名（学校名）	担当校長名（学校名）	教科名	研究員名（学校名）	担当校長名（学校名）
国語	有竹 真吾（大任）	渡邊 伴子（上野）	国語	村井 賢子（香春）	小田 玲子（大任）
社会	山本 公平（香春）	高瀬美智也（香春）	社会	村上 裕一（香春）	白石 俊幸（金田）
算数	奥 拓也（津野）	太田 亮一（伊方）	数学	山本 秀信（香春）	縄田 哲也（川崎）
理科	馬場 利文（弁城）	松村 重治（川崎）	理科	毛利宗史朗（赤池）	坂本 和紀（池尻）
生活・総合	永井 陽子（糸田）	中川 真一（真木）	音楽	本田 智子（川崎）	友松 秀樹（方城）
音楽	太田 優子（伊方）	城石 俊弘（大任）	美術	其上 利幸（添田）	村上きぬよ（糸田）
図工	香川ゆかり（川崎東）	中川 雅彦（中元寺）	保体	佐々木佳子（大任）	高橋 孝徳（鷹峰）
家庭	西島 雅美（川崎）	光井美登利（落合）	技術・家庭	田中 朋美（香春）	重藤 公暢（赤）
体育	鍋藤 秀晃（市場）	石堂 昌彦（糸田）	外国語	前田 雅仁（添田）	三賀山 宏（香春）
道徳	清瀬 浩一（採銅所）	小峠 英人（中津原）	道徳	鷺尾 佳子（香春）	小田 玲子（大任）
外国語活動	山口 大介（勾金）	森 隆子（池尻）	総合	青柳 美香（金田）	白石 俊幸（金田）
特活	大久保利詔（川崎東）	井上 憲治（市場）	特活	池上 敏文（池尻）	重藤 公暢（赤）

# 学力向上実践校の紹介【小学校】

## 学力向上を図るための取り組み

香春町立採銅所小学校

- 1 学力向上を目ざす授業づくり ～主体的に思考・判断・表現する児童の育成を目ざして～
  - (1) テーマ研究の国語科研究において、確かな読みの力を育てるための効果的な「かく活動」や「交流活動」の研究を進めるとともに、この活動が他の教科や様々な学習活動の中で取り入れられるよう研修を行う。
  - (2) 学習の中に言語活動を位置づけた指導過程を組む。その中で、教師による発問の工夫や思考を高める具体的な手だての研究を行う。
  - (3) 児童一人一人の言語活動の充実を図るため、作文や短文づくり等を効果的に位置づけ、文字数や文章構成力の向上を確認し、評価・掲示する。
  - (4) 思考過程がわかるノートの工夫やワークシートの活用について、授業研究を通して考察する。
- 2 学力の基礎を培うための朝の活動
  - (1) 知識・技能の習熟を図る取組
    - ①モジュール学習（火・木 8：25～8：40）
      - ・読む・・・一斉読み、交互読み、二人読み、たけのこ読みなど音読活動
      - ・書く・・・学年の全漢字練習に取り組み、反復練習の徹底
      - ・計算・・・学年に応じたプリント学習の継続・反復練習
      - ・フラッシュカード・・・「読む」または「計算」の時間に活用し、脳を活性化
    - ②百マス作文（金 8：25～8：40）
      - ・低学年80字、中学年90字、高学年100字
      - ・題の提示→構想（1分）→叙述（3分）→振り返り ※残りの時間は、音読等を実施
      - ・作文は評価し、百マス作文用ファイルに掲示
    - ③パワーアップタイム（月1回 1時間）
      - ・基礎・基本の学習内容の補充・定着・発展
      - ・算数（計算、数量関係、量と測定）、国語（漢字の読み・書き）
      - ・学年ごとに実施日を定期的に設定し、複数体制での指導
  - (2) 読書活動の充実を図る取組
    - ①読み聞かせ（水 8：25～8：40）
      - ・読書ボランティアによる読み聞かせ（低学年－毎週 中学年－隔週 高学年－月1回）
    - ②図書室整備
      - ・図書司書補さん方の読書環境の整備・充実
    - ③読書目標数値の設定
      - ・学年ごとの目標数値をもたせることで読書量の増加
    - ④隙間読書の実施
- 3 学ぶ意欲や規範意識の向上を図る取組
  - (1) 生徒指導の機能を生かした授業の実施
    - ・自己存在感をもたせる
    - ・共感的人間関係を育成する
    - ・自己決定の場を設定する ※生徒指導上の有効性と共に学習意欲・学力の向上につなげる
  - (2) 学習規律の徹底（話のしかた・聞き方、学習の準備等）
  - (3) 基本的な生活習慣の定着（生活のきまりに基づく指導、家庭への啓発・連携）
  - (4) 規範意識の向上（規範意識を育む体験活動の充実、家庭・地域との連携）

# 学力向上実践校の紹介【中学校】

## 学力向上を図るための取り組み

香春町立香春中学校

- 1 本年度の重点
  - (1) 少人数指導による個に応じた指導の徹底（国数社理英5教科はクラスを2つに分ける少人数授業、TT授業の実施）
  - (2) 授業改善への取り組みの推進
    - ①基礎的・基本的な知識・技能の定着（短期間集中型反復学習の活用）
    - ②言語活動の充実（思考力・判断力・表現力の育成）
    - ③内発的学習意欲向上
- 2 学力向上を目指す授業づくり
  - (1) 内発的学習意欲を引き出す指導方法・資料の開発
  - (2) 短期間集中型反復方法の推進
  - (3) 分割授業やTTによる個に応じた指導
  - (4) 言語活動の充実を重視し、思考力・判断力・表現力の育成を目指す授業づくり
  - (5) 教育機器の積極的活用
- 3 学力の基礎を培う活動
  - (1) 毎朝10分間の朝読書・朝学習（週末に定着テスト）
  - (2) 放課後・長期休業中の補充学習（任意参加）
  - (3) 家庭学習の充実
    - ①適切な課題 ②自学ノートの提出 ③家庭学習の手引き・学習シラバスの配布
- 4 学ぶ意欲・規範意識の向上
  - (1) 道徳教育の充実（本年度の研究テーマ：豊かな心を育む道徳教育の研究）
  - (2) 学習規律の徹底（チャイム席・整理整頓・姿勢）
  - (3) 体験活動の充実（職場体験・自然体験・福祉体験等）
- 5 学力向上推進組織の運営
  - (1) 学力向上委員会の月例開催
    - ①各学年の取り組み・生徒の学力実態の交流
    - ②各種テストの分析
    - ③具体的な取り組み方法の検討（指導方法の工夫改善・個別指導・支援体制）
  - (2) 学力向上委員会と研究推進委員会の連携推進
- 6 教員研修の充実
  - (1) 校内研修の計画的実施
    - ①主題研修：講演会の実施・研究授業の実施
    - ②一般研修：授業技術の向上（板書・発問）、生徒理解・カウンセリングの技法、言語活動の充実、進路と学力の保障、内発的学習意欲の引き出し等
  - (2) 校外研修への積極的参加奨励（センター研修・附属中学校研修等）